

胆石が見つかった

お医者さんに
聞いてみよう



②6

健康診断で「胆石がある」と指摘されました。医師からは「様子を見ましょう」と言われたのですが、このままにしておいてよいのでしょうか。

痛みがなければ様子見でよいです。ただし、検査は受けてください。

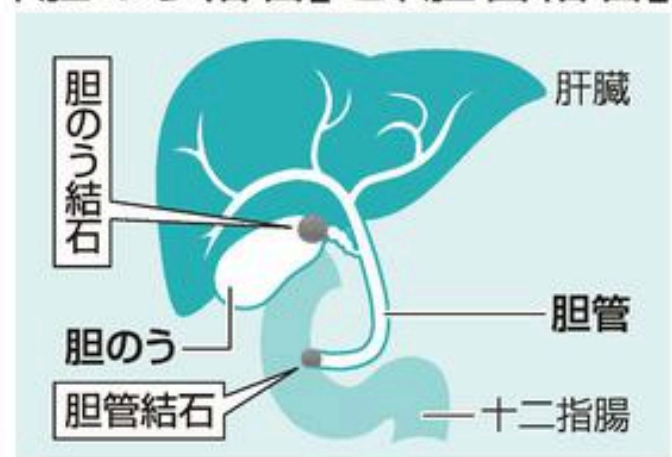
その理由について説明する前に「胆石とは何か」「どうしてできるか」についてお話しします。

脂肪の吸収を助ける胆汁は肝臓で作られて十二指腸に排出されますが、この肝臓から十二指腸までをつなぐ管が「胆管」です。そしてこの胆管の途中にあって、胆汁を蓄えているのが胆のうです。

(図) 胆石とは、この胆汁が流れる道、すなわち胆管と胆のうにある石の

初めてなら しっかり検査

「胆のう結石」と「胆管結石」



胆石は、その成分によってコレステロール(脂肪)の石と胆汁色素の石に分けられますが、近年においては圧倒的にコレステロールの石が多くなっています。胆汁の中にはコレステロールが溶けていますが、脂肪の過剰摂取などでコレステロールが溶けきれなくなる

と結晶化して胆石となります。胆石は日本人の2〜10%にあると

ことです。胆のうの石「胆のう結石」の方が、胆管の石「胆管結石」よりも圧倒的に多く、また見つけやすいので、今回見つかったのもおそらく胆のう結石と思われる

胆のう結石は、その成分によってコレステロール(脂肪)の石と胆汁色素の石に分けられますが、近年においては圧倒的にコレステロールの石が多くなっています。胆汁の中にはコレステロールが溶けていますが、脂肪の過剰摂取などでコレステロールが溶けきれなくなる

《 答える人 》



安田 一朗さん

富山大付属病院第三内科診療部門長

- ✓ 痛みなければ様子見
- ✓ 日本人の2〜10%にある
- ✓ 重篤な状態に陥る場合も

れるぐくありふれた病気で、健診や人間ドックなどでよく見つかります。

続いて胆石の症状についてです。胆のうの中の石が何かの拍子に出口に詰まると痛みを引き起こします(図)。胆のうは肝臓の下に張りついており、肝臓は右の肋骨の後ろにあるので、「胆のう結石」の痛みは右の肋骨の下からみぞおちに出現します。その後、詰まった石が短時間で外れれば症状は軽くなりますが、詰まったままになると胆のうの中に細菌が増殖して胆のう炎を引き起こし、発熱と耐えがたい痛みを伴って腹膜炎に進行します。ただし、実際に症状を起こす胆のう結石は全体の1〜2割で、ほとんどの方は生涯無症状で過ごされます。

一方、「胆管結石」は細い胆管の中にあるので出口に詰まりやすく、ほぼ必ず症状が出るとされています。胆管の出口に石が詰まると(図)、腹痛以外に肝臓から血液への胆汁の逆流が起こり黄疸を引き起こします。さらに胆管の中で増殖した細菌が全身に回ると、敗血症という重篤な状態に陥り、発熱・血圧低下・意識障害をきたし、特に高齢者や全身疾患を抱える方では生命をおびやかす危険な状態となります。

さて、胆石が見つかった場合ですが「胆のう結石」については既に述べたように無症状で経過することが多く、ほとんどの方が治療の対象とはなりません。つまり、年1回程度の腹部超音波(エコー)検査で経過をみるだけで十分です。

しかし、初めて見つかった場合にはしっかりと検査をする必要があります。注意しなければならぬのは、「胆管結石」や「胆のうがん」の合併です。胆のうから胆管に石が落ちることはしばしばあり、その場合は治療の対象となります。また、胆のう結石には胆のうがんが合併していることが数%あり、初めて見つかった場合には造影剤を使用したCTやMRIを行い、異常がある場合には専門施設でさらに超音波内視鏡(EUS)検査などの精密検査を受けることをお勧めします。

最後に治療についてですが、症状のある胆のう結石の治療は、腹腔鏡下胆のう摘出術(ラパコレ)が現在の標準治療となっています。おなかに3〜4個穴をあけて、腹腔鏡を使って胆のうを取り出す方法で、1週間ほど入院します。一方、総胆管結石の治療は内視鏡を使った治療となります。



10月から第2、4火曜に掲載。これまでの連載はこちらからご覧になれます